

人文社会科学部 社会科学専攻 カリキュラムマップ

赤字はコアカリキュラム、指導教員が指定する必修科目は学生の属性（社会人学生、留学生等）および研究テーマを踏まえて指定が行われる属人的な性格を有するためカリキュラムマップ掲載に適さないことから各分野の科目の一部を掲載するにとどめる。

【修了に必要な単位数：30単位】

必修科目：10単位（特別研究6単位＋指導教員が指定する特講及び演習4単位）

選択必修科目：12単位（当該専攻の授業科目から選択）

自由選択科目：8単位（当該専攻及び他専攻の授業科目から自由に選択）

分野	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
共通科目	特別研究Ⅰ（2単位）	特別研究Ⅱ（2単位）	特別研究Ⅲ（2単位）	
共通科目	三重の文化と社会Ⅰ（2単位）	三重の文化と社会Ⅱ（2単位）		
法学・政治学分野	比較憲法論特講（2単位）、法哲学特講（2単位）、政治学特講（2単位）、政治思想史特講（2単位）、行政学特講（2単位）、行政法特講（2単位）、地方自治論特講（2単位）、国際関係論特講（2単位）、民法総則・物権法特講（2単位）、債権法特講（2単位）、家族法特講（2単位）、犯罪総論特講（2単位）、会社法特講（2単位）、労働法特講（2単位）等	比較憲法論演習（2単位）、法哲学演習（2単位）、政治学演習（2単位）、政治思想史演習（2単位）、行政学演習（2単位）、行政法演習（2単位）、地方自治論演習（2単位）、国際関係論演習（2単位）、民法総則・物権法演習（2単位）、債権法演習（2単位）、家族法演習（2単位）、犯罪総論演習（2単位）、会社法演習（2単位）、労働法演習（2単位）等	1年に修了できなかった科目を履修	1年に修了できなかった科目を履修
経済学・経営学分野	経済原論特講（2単位）、計量経済学特講（2単位）、財政学特講（2単位）、経済政策特講（2単位）、産業経済論特講（2単位）、金融論特講（2単位）、国際経済論特講（2単位）、日本経済論特講（2単位）、地域経済論特講（2単位）、福祉経済論特講（2単位）、日本資本主義史特講（2単位）、経営学総論特講（2単位）、マーケティング特講（2単位）、人的資源管理論特講（2単位）等	経済原論演習（2単位）、計量経済学演習（2単位）、財政学演習（2単位）、経済政策演習（2単位）、産業経済論演習（2単位）、金融論演習（2単位）、国際経済論演習（2単位）、日本経済論演習（2単位）、地域経済論演習（2単位）、福祉経済論演習（2単位）、日本資本主義史演習（2単位）、経営学総論演習（2単位）、マーケティング演習（2単位）、人的資源管理論演習（2単位）等	1年に修了できなかった科目を履修	1年に修了できなかった科目を履修

注：2021年度における主な科目を表示した。

人文社会科学研究科 社会科学専攻 カリキュラムの到達目標およびDPとの関係

ディプロマポリシー（DP）	
1.	社会科学（法律、政治、経済、経営）の諸問題に関して、深い専門知識と幅広い視野にもとづく学識を備えている。
2.	地域社会が抱える課題の解決に貢献する能力を身につけている。
3.	地域における政策形成、企業活動等において専門性を生かして貢献できる。

分野	科目名	到達目標	DP1	DP2	DP3
共通科目	特別研究Ⅰ・Ⅱ	研究活動を遂行しうる基礎的な研究能力と研究方法を身につけることができる。	○	○	○
	特別研究Ⅲ	的確な問題意識のもとに、適切な方法で修士論文を作成しうる高度な研究能力を身につけることができる。	◎	◎	○
	三重の文化と社会Ⅰ・Ⅱ	自ら設定した課題について、文献やフィールドワークをつうじた解明を試みることにより、研究の方法と論理を修得し、その成果を適切な方法で発表することができる。	○	◎	◎
法学・政治学分野	特講	修士論文執筆に必要な各専門分野における基礎知識を身につけることができる。	◎		
	演習	自ら設定した課題について、文献資料などを用いて考察を深め、解決する力を身につけることができる。	○	◎	◎
経済学・経営学分野	特講	修士論文執筆に必要な各専門分野における基礎知識を身につけることができる。	◎		
	演習	自ら設定した課題について、文献資料などを用いて考察を深め、解決する力を身につけることができる。	○	◎	◎